

計画の策定経過

◆ 光り輝く「教育立県ちば」を実現する有識者会議

○ 「キャリア教育」、「グローバル化に対応した教育」、「特別支援教育」といった重要な課題や本県教育の今後の在り方等について意見を伺うため、平成26年5月に設置した。

○ 平成26年9月までに5回の会議を開催し、本計画策定に当たっての重要課題について意見を求め、計画に反映することとした。

・ 第1回 平成26年5月27日

千葉県教育の現状について

・ 第2回 平成26年6月5日

光り輝く「教育立県ちば」を推進する懇話会の論点まとめについて

・ 第3回 平成26年7月3日

キャリア教育の推進、グローバル化に対応した教育の推進、豊かな学びを支える学校づくり

・ 第4回 平成26年9月4日

豊かな学びを支える学校づくり、公民教育の充実、スポーツの振興・健康体力づくり、学力と心を育む体験活動

・ 第5回 平成26年9月16日

特別支援教育の推進、公立私立連携による教育力の向上、活力あるコミュニティづくり
有識者会議の論点のまとめについて

○ 委員及び臨時委員（敬称略、50音順、役職は平成26年5月時点のもの）

（委員）10名

天 笠 茂

千葉大学教育学部教授

河 村 茂 雄

早稲田大学教育・総合科学学術院教授

木 村 治 生

（株）ベネッセホールディングス

ベネッセ教育総合研究所初等中等教育研究室長

黒 川 君 江

（特非）発達障害支援ネットYEEL理事長

小 杉 礼 子

（独）労働政策研究・研修機構特任フェロー

永 田 繁 雄

東京学芸大学教職大学院教授

中 山 理（座 長）

麗澤大学学長

西 村 清

千葉黎明高等学校理事長・校長

宮 田 修（副座長）

熊野神社宮司、元NHKエグゼクティブアナウンサー

和 田 秀 樹

精神科医、国際医療福祉大学大学院教授臨床心理学専攻

(臨時委員) 7名

石 崎 一 記
江 口 勇 治
清 水 宗 正
富 田 久 枝
平 山 金 吾
増 田 明 美
宮 入 小夜子

東京成徳大学応用心理学部教授
筑波大学人間系教授
裏千家準教授、(社)茶道裏千家淡交会千葉県支部常任幹事
千葉大学教育学部教授
平山建設(株)監査役、(社)千葉県経営者協会副会長
スポーツジャーナリスト、大阪芸術大学芸術計画学科教授
日本橋学館大学リベラルアーツ学部教授

○ 主な意見

・キャリア教育の推進

子どもたちにとって、早い段階で自らの内面に立脚した「志」を持ち、それが学習への動機に結びつくことが重要である。

・道徳教育の充実

道徳の授業だけではなく、全ての教科・科目において、人としての在り方を考えさせる教育が必要である。

道徳は、人間同士のみならず、自然、歴史、科学、宇宙などを含む「他者」との関係性の構築の在り方を考えさせる教育である。

・グローバル化に対応した教育の推進

日本人として自国について海外に発信することができるようにするための教育が必要である。

・豊かな学びを支える学校づくり

学校は、児童・生徒、保護者、地域の人々が抱く思いや願いを受けとめ、保護者、地域の人々と協働して魅力ある学校づくりに取り組むべきである。

【中山座長コメント】

このたび「光り輝く『教育立県ちば』を実現する有識者会議」における意見を事務局でまとめていただきました。

私は、「社会状況の変化にともない生じている課題に対しどう取り組み、21世紀のグローバル時代にふさわしい人材育成を目指し、千葉県の特色を生かしながら、いかに教育の実質化を図るか」について論ずること、これが私たち委員に課されたミッションだと理解しています。5回の会議を通して様々な分野の専門家である委員が、これに真摯に向き合い、意見を述べ合い、議論することで、その方向性と論点を示すことができたのではないかと自負しています。

今後、千葉県で策定する次期教育振興基本計画において、私たちの検討の成果が生かされ、千葉県の教育がより良いものとなること、文字どおり光り輝く「教育立県ちば」が実現することを期待しています。(平成26年11月19日)

※「光り輝く『教育立県ちば』を実現する有識者会議」の論点のまとめについては、県教育委員会ホームページにて閲覧することができます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/press/2014/documents/rontennomatome.pdf>

◆ 光り輝く「教育立県ちば」を推進する懇話会

- 平成26年度に設置する有識者会議に向けて、本県の当面する教育課題に関する論点を整理するため、平成25年8月に設置した。
- 平成26年3月までに5回の会議を開催し、「児童生徒の学力向上」、「教員の資質向上」、「いじめの防止」、「道徳教育の充実」、「幼児教育及び家庭教育の充実」の5つのテーマについて意見を聴取し、課題や論点を整理した。

第1回	平成25年9月17日	第2回	平成25年11月15日
第3回	平成25年12月24日	第4回	平成26年1月30日
第5回	平成26年3月14日		

- 委員及び臨時委員（敬称略、50音順、役職は平成25年9月時点のもの）

（委員）5名

河村 茂雄	早稲田大学教育・総合科学学術院教授
鈴木 みゆき	和洋女子大学人文学群教授
中山 理（座長）	麗澤大学学長
宮田 修（副座長）	熊野神社宮司、元NHKエグゼクティブアナウンサー
芳沢 光雄	桜美林大学リベラルアーツ学群教授

（臨時委員）8名

市川 由貴子	学校法人市藤学園理事長、社会福祉法人星の子理事長
木村 治生	（株）ベネッセコーポレーション ベネッセ教育総合研究所初等中等教育研究室長
高橋 えみ子	心療内科メンタルクリニック赤とんぼ院長
田沼 茂紀	國學院大学人間開発学部教授
永田 繁雄	東京学芸大学総合教育科学系教員養成 カリキュラム開発研究センター教授
中原 美恵	東洋大学ライフデザイン学部教授
長谷 徹	東京家政学院大学現代生活学部教授
本堂 純子	淑徳大学国際コミュニケーション学部特任教授

◆ 千葉県教育振興基本計画関係者会議

- 本計画の策定に当たり、教育関係団体等からの幅広い意見を反映し、計画の実効性を高めるために2回の会議を行い、計画素案について意見交換を行った。

第1回	平成26年12月10日	第2回	平成27年1月14日
-----	-------------	-----	------------

- 構成団体

千葉県小学校長会、千葉県中学校長会、千葉県高等学校長協会、千葉県特別支援学校長会、千葉県国公立幼稚園協会、（一社）千葉県私立中学高等学校協会、（一社）全千葉県私立幼稚園連合会、千葉県市町村教育委員会連絡協議会、千葉県都市教育長協議会、千葉県町村教育長協議会、（一社）千葉県商工会議所連合会、

千葉県商工会連合会、(一社)千葉県経営者協会、千葉県中小企業団体中央会、
 千葉県教職員組合、千葉県高等学校教職員組合、千葉県PTA連絡協議会
 千葉県高等学校PTA連合会、千葉県特別支援学校PTA連合会、
 千葉県国公立幼稚園PTA連絡協議会、(一社)千葉県子ども会育成連合会、
 (公財)千葉県教育振興財団、(公財)千葉県文化振興財団、千葉県高等学校文化連盟、
 (公財)千葉県体育協会、(一財)千葉県障害者スポーツ・レクリエーション協会、
 千葉県小中学校体育連盟、千葉県高等学校体育連盟、千葉県特別支援学校体育連盟

◆ みんなで取り組む千葉教育推進会議

- 本計画を教育委員会のみならず、知事部局や警察本部を含めた横断的・総合的なものとするため、4回の調整会議と1回の推進会議を開催し、取組についての意見交換や調整を行った。
 - ・ みんなで取り組む千葉教育推進会議 平成27年1月29日 計画案について
 - ・ みんなで取り組む千葉教育推進調整会議 (4回)
- 平成26年5月30日、8月27日、11月5日、平成27年1月23日

◆ 教育交流会「みんなで取り組む千葉教育『超』会議」

- 本計画の策定に向け、今後の本県の教育について幅広く県民の意見を伺うとともに、教育を核に県民が交流する場として、平成26年10月26日に千葉県総合教育センターで交流会を開催した。
- 「家庭・学校・地域の連携」をテーマに、参加者によるグループ別の意見交換を行った。
- 参加者数 123名

◆ 中学生・高校生との交流会

- 「中学生・高校生との交流会」を平成26年度は県内6会場で開催し、中学生・高校生から意見を聴いた。
 - 平成26年7月15日 県立船橋東高等学校
 - 8月5日 県立小金高等学校、県立白井高等学校
 - 8月11日 県立小見川高等学校
 - 8月25日 県立京葉高等学校
 - 8月26日 いすみ市役所大原庁舎
- 参加者数 計213名(中学生 126名、高校生 87名)
- 主なテーマ
 - ・ 情報モラルについて (スマホやケータイの使い方など)
 - ・ いじめ問題について
 - ・ 授業や部活動について
 - ・ 地域社会への貢献について
 - ・ 国際理解 (異文化理解、外国への関心) について
 - など

◆ パブリックコメント

平成26年12月10日から平成27年1月7日まで (29名、延べ98件)

ライフステージに対応した施策概要

ここでは、本計画の主な取組を、ライフステージごとに整理しました。

乳幼児 (0歳～6歳頃)	園児 (3歳頃～6歳頃)	児童期 (6歳頃～12歳頃)	青年期・中期 (12歳頃～18歳頃)	青年後期、成人期 (おおむね18歳以上)
	読書活動や体験活動を通じた学習意欲の向上			学校を核とした地域コミュニティの構築と 子どもの学びへの支援 学校・家庭・地域が連携した家庭教育の 推進 社会教育推進体制の強化
	子どもたちの主体的な学びを支える取組の充実			
	子どもの多様化に対応したきめ細かい教育の推進			
	外国語教育の充実			
	五感を通して学ぶ体験活動の推進			
	豊かな人間性を育む千葉ならではの道徳教育の展開			
	自他ともに尊重し命を大切にすることの心の教育の推進			
	体力向上を主体的に目指す子どもの育成			
	子どもの健康を守る学校保健の充実			
	体系的なキャリア教育の推進			
	企業や大学・研究機関等との連携による職場体験等の充実			
	郷土と国の歴史や伝統文化等について学ぶ教育の推進			
	生涯学習社会を目指した取組の推進			
	読書県「ちば」の推進			

